

「日米軍事訓練を許さない」9.13 かごしま集会

九州9条連共同代表 友田 良子

9月13日少し曇り日和で小雨、そして時より日差しの中に150余りの人々が、激しさの増す日米軍事訓練に「反対!」の声を挙げるために集まりました。

私は、現地の報告を聞き、怒りと不安はますます大きくなりました。

集会では、

- ① さつま町「弾薬庫問題を考える会」からの報告
 - ② 大隅ブロックの報告
 - ③ 県議会の報告
 - ④ 熊毛・奄美の状況報告
- が行なわれました。

さつま町の町議会議員として、9月議会の一般質問で町長に「弾薬庫問題についての考え」を質問しました。町長は、「私は戦争に絶対反対です。しかし、弾薬庫問題は国の事案です」というありきたりの答弁を繰り返すのみだったという報告でした。

鹿屋市では、住民が「日米実動訓練に反対」の申し入れをしたにも関わら

ず、自衛隊鹿屋市航空基地に、米海兵隊の輸送機オスプレイ11機程度が駐機し、大分や熊本の演習場へと行き来しています。

馬毛島自衛隊基地の工事は進み、自衛隊宿舎の建設もはじまり、壊滅的な自然破壊が行われており、軍事基地の完成が間近です。



「西之表の上空は飛ばない」「米軍は種子島には上陸しない」 あなたはそれを信じますか??

日常化させてはならない

住民の声に防衛庁は、「なんと」応えるのでしょうか。

奄美大島では自衛隊と米軍の軍事訓練は、日常の事のように行われています。住民まで巻き込んで。「これが日常」と住民が思ってはならない。

だから私たちは、「知ること」「知らせること」「見ること」を止められませんか。声を掛け合って、手を取り合って、活動を続けて戦争を止めます。

私たちは、「日米軍事訓練を許さないぞ!」「軍事拡大で平和は守れない!」「住民生活を壊す基地を許さないぞ!」「鹿屋のオスプレイ訓練反対!」「馬毛島基地建設反対!」「奄美のミサイル

配備反対!」と大きな声で訴えながら、天文館までデモ行進しました。

「オスプレイ訓練 九州常態化という記事が西日本新聞(2025.9.8)に掲載された。

その中に次のような文言があった。

築城基地の機能強化などに反対する住民団体代表の渡辺ひろ子さん(77)は、8月以降、何度も機体を目撃した「最初は恐ろしいと思ったが、しょっちゅう来るので慣れた部分もある。オスプレイが飛ぶ風景が日常になってしまるのが怖い」

この「慣れ」、日常化に負けてはならない。

戦争してはならぬ！日出生台演習場ゲート前集会

時折雨も降る中、日出生台演習場ゲート前において、100名、プラス3(右翼2名と三脚立てビデオカメラ撮影の警察官)の参加者で「自衛隊と米海兵隊による実弾砲撃訓練(レゾリュート・ドラゴン25)に反対する！軍事訓練も軍備拡大も直ちにやめよ！戦争してはならぬ！」集会が開催されました。

集会では、地域で活動している方々の力強い報告、日出生台に寄せる思いが語られました。

騙されずに声をあげ続ける

主催の「草の根」からは、
・「中国が攻めてくるということで、流

福岡市在住 相川 泰通
言飛語によって多額の防衛予算が、税金からどんどん回されている。生きていくことを犠牲にして軍備につぎ込んでいる。兵器を作る軍事産業へ流れていく。みんな分かっているが、誰も戦争によって儲かる人は、軍事産業、死の商人以外に戦争で稼ぐ人々はいないはずなのに、戦争が引き起こされている。21世紀の人類はなぜ、愚かなことを続けるのか。戦争をするな！と声を上げていこう。」

現地で監視活動を行っている団体の代表

・「敵基地攻撃を想定した過去最大の訓練(自衛隊 4,000名、米海兵隊 500

名) 日本の各地からミサイル攻撃をすれば、同時に攻撃されることが予想される。訓練が終わっても戦争反対の声を上げていこう。」

・「実戦に即した訓練をしている。1000 km飛ぶミサイルを、南西諸島、沖縄、日本各地に配備しようとしている。



戦争をさせない 大分の方

・大分に9庫の弾薬庫を作ろうとしており、最初の大型弾薬庫1棟が12月までにできあがろうとしている。防衛局に説明を求めても、住民に危険なものがあるのか、危険があるのか一言も言わない。ミサイルが向いている先は中国。80年前に中国と戦争はしないと誓ったはず、平和外交、話し合いで友好・発展を願っていく。」

・「弱い立場の人が生きづらい世の中になっている。引きこもりの人が沢山いる。国の福祉の貧困をあらためて実感する。国防というけど、どこかの国が攻めてくるでもなく、この国、日本は自壊し始めていることを実感している。

平和といのち見つめる会

・戦争や人殺しを準備する前にすることが社会にはあるはず。いつの間にか、国がこう言うから。国に金がないから。とか、国のためにとか、主語や目的語が、国へたとえられるようになった。一人一人の暮らしを、国、という大きな物語で見えなくしてしまうような政策がとられ、マスコミはそれにのっかっている。私たちは、それに騙されてはいけない。」

仲間とともに声挙げ続ける

「なすな」381によると、遠くは神奈川からの参加者もいたらしい。

昨年のレゾリュート・ドラゴン 24と、今回の、レゾリュート・ドラゴン 25の訓練内容を「陸上自衛隊・ニュースリリース」で比較しました。文書中の「目的」では、昨年、今回ともまったく同じ文章です。「場所」は、昨年は、「山口、熊本、大分、佐賀、沖縄」しかし、今年のレゾリュート・ドラゴン 25では、「北海道、東京都、大分、佐賀、長崎、鹿児島、沖縄」と全国に及んでいます。

今回のレゾリュート・ドラゴン 25は、全国に長距離ミサイル配備をした戦争準備態勢強化のための、実動訓練「レゾリュート・ドラゴン 25」であったと思います。今後、ミサイル配備、戦争準備施策に対して仲間と共に声を上げていきたいと思います。

右翼の集会参加??

私服に取り囲まれて登場した紺色の戦闘服の肩に日の丸と菊の御紋をつけた二人組は、時折「なんじゃ」「自衛隊への妨害やめろ」とか「中国の脅威に備えるのは当たり前だろうが」と叫びながら、「抗議集会」の周辺を歩き回っていました。

右翼が数台の宣伝カーで打音量の妨害行動を行うことはよくあることですが、集会に介入し、堂々と自己主張するこの右翼の言動は、反対運動が舐められているのか、世相の反映なのか、新たな局面に今私たちは居ることを痛感させられた。

戦争への道を許さない

10月21日、筑紫平和・人権センター主催の「国際反戦デー記念講演会」が開催された。筑紫平和・人権センターには会員登録している九州9条連会員もいる。

主催者は、「核抑止力はフェイクであ

る」という8.6広島原爆集会での発言が印象に残ると挨拶した。

講演では、「沖縄・九州軍事基地化の実態」が映像・地図を示しながら行われた。(同封のアピール参照)

[お知らせ]

2024年度会計監査終了

2025年10月15日 2024年度(2024.4.1～2025.3.31)の会計監査が行われ、「帳簿関係はよく整理されており、不正の事実はみとめられません」との報告がされた。

九州9条連第17回総会

日時 2025年12月9日 14時から

場所 博多近代ビル 104号室

内容 ・経過、会計・監査報告

・活動方針、役員承認

・会則の改正

※ 終了後、会費制の懇親会開催 参加希望者は事務局まで連絡を

[編集後記]

※高市・維新内閣は、防衛費増額2年前倒し、安保3文書改定、国家情報局創設・スパイ防止法成立など矢継ぎ早に有事体制に邁進している。ひるまず進もう(お